

# 都市再生整備計画

きたのかみしちけんかい  
北野上七軒界わい地区  
(第2回変更)

きょうとふ きょうとし  
京都府 京都市

平成 24年 3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	京都府	市町村名	京都市	地区名	北野上七軒界わい地区	面積	25 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度				

**目標**

大目標： 無電柱化事業・石畳風アスファルト舗装・道路照明灯の設置等により、歴史的文化的特性を活かした景観整備を行い、都市観光の活性化を図るとともに、地域住民が安全・安心に暮らせるまちづくりを行う。

目標1： 電線類地中化により、歴史特性を活かした景観整備を行い、交通安全性・歩行者の快適性の向上を図ると共に災害に強いまちづくりを行う。

目標2： 道路の美化(石畳風アスファルト舗装)、道路照明灯のグレードアップを図り、歴史特性を活かした景観整備を行う。

目標3： 地域住民が自発的に景観形成に取り組み、自らが地域特性にふさわしい居住空間を形成維持できる環境整備を行う。

目標4： 観光客が安心して円滑にまちなみ散策を楽しめる環境整備をすると共に観光資源の賑わいを再生する。

**目標設定の根拠**

まちづくりの経緯及び現況

- ・当地区は、上七軒通をメインストリートとした京都最古の花街と学問の神さまとして広く信仰されている北野天満宮をはじめ多くの社寺や歴史文化資源を有している地区である。
- ・当地区においては、人口減少や産業低迷により伝統的な京町屋等の空地化やマンション化が進んでおり、主要産業である西陣織も売上低迷が進んでいる。一方、町屋ストックの新たな活用方法の模索や西陣織の技術の高度化や観光化などの新たな産業活性化の取組も進められている。
- ・当地区では、過去二年間にわたり住民参加と官民協働のまちづくりに関する取組が継続しており、住民相互の結びつきを深めるため各種交流会、勉強会を開催して、歴史特性を活かし、安全で安心して暮らせるまちづくりを盛り上げているところである。
- ・当地区の中心に位置する上七軒通は幅員4m～6mの狭い道に電柱が立ち、電柱と電線が景観を損ねているだけでなく、危険性も高い。地元では、以前から無電柱化の要望があり、現在無電柱化推進計画に基づき電線類の地中化を推進すると共に、舗装や照明灯についても景観に配慮したデザインを検討している。

**課題**

- ・上七軒通は幅員が狭く歩道も設置されていないことから歩行者の安全確保が重要である。

**将来ビジョン(中長期)**

- ・地域住民がゆとりを持って暮らせるうおいのある京の町づくりのために、道路環境の改善を進め、歴史都市・京都にふさわしいまちづくりを図る。
- ・北野上七軒の歴史的・文化的特性を活かし歩く魅力がある「歩くまち・京都」の実現を図る。
- ・「京都市基本計画」(平成13年1月策定)において、個性的で美しい景観の形成を目標に、「電線類の地中化を推進するとともに道路の舗装や照明のデザインを工夫するなど、道路の景観の向上に努める。」と定めている。
- ・上七軒通を含むエリアは、「京都市市街地景観整備条例」(平成13年8月策定)により「上京北野界わい景観整備地区」に指定され、特色ある地区の景観を維持又は整備することを目標に、「地区内の道路法による道路を景観重要公共施設とし、整備に際しては地区の景観の特性に配慮する。」と定めている。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
上七軒通の歩行者数	人	事業区域のメインストリートである上七軒通の歩行者数(北野天満宮緑日における歩行者数)	歴史的文化的特性を活かした景観整備を行うこと、ならびに安全・安心に利用できる環境を創出することによる、上七軒通の歩行者数を指標とする。	1,250 人	平成21年度	1,500 人	平成25年度
地域住民の景観に対する満足度(景観が良いと思っている方の割合)	%	事業区域における地域住民の満足度調査(アンケート調査)	歴史的文化的特性を活かした景観整備を行うことによる、地域住民の評価を指標とする。	20 %	平成21年度	60 %	平成25年度
地域住民のワークショップ参加人数	人	地域住民の意向を反映するためのワークショップ参加人数	街並みの景観に調和した石畳風アスファルト舗装並びに照明灯設置のため、地域住民とワークショップを実施する。	10 人	平成21年度	20 人	平成25年度

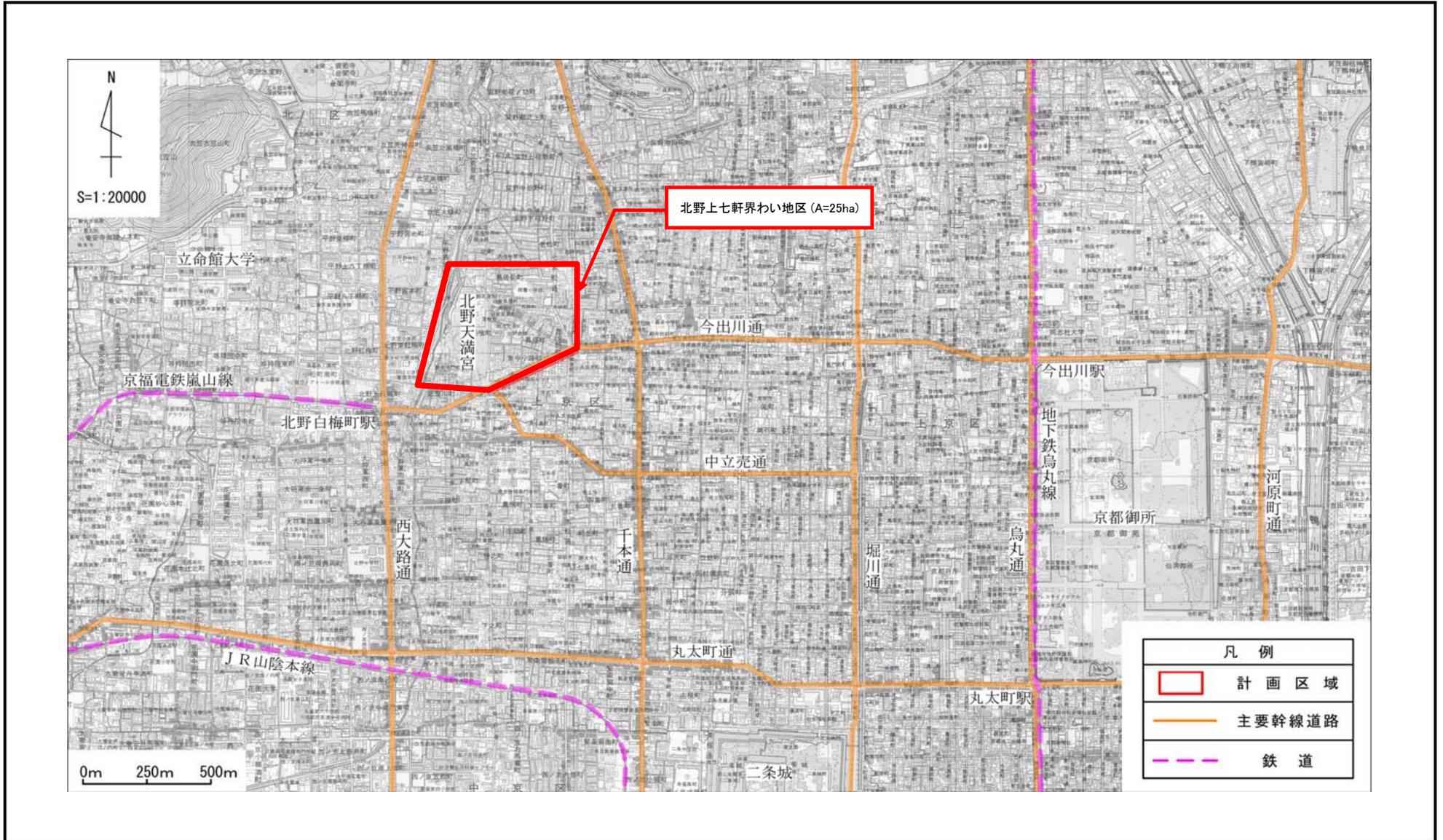
## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1「歴史的な街並みに調和したまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的な街並みを形成するため、上七軒通(市道翔鷹緯7号線)の無電柱化事業・石畳風アスファルト舗装を行う。</li> <li>・街並みの景観に調和した照明灯及び情報板、石碑を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路</li> <li>● 高質空間形成施設</li> <li>● 道路</li> <li>● 高質空間形成施設</li> <li>● 高質空間形成施設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電線共同溝【基幹事業】</li> <li>・ 石畳風アスファルト舗装【基幹事業】</li> <li>・ 情報板【基幹事業】</li> <li>・ 照明灯設置【基幹事業】</li> <li>・ 石碑【基幹事業】</li> </ul>
<p>整備方針2「安全・安心に利用できる環境づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間における通行の支障に対する不安を解消するため照明灯を設置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高質空間形成施設</li> <li>● 高質空間形成施設</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 照明灯設置【基幹事業】</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業終了後の継続的なまちづくり方策について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住民による継続的なまちづくり活動</li> <li>・ 事後評価への住民などの参加</li> </ul> </li> <li>○ 交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民などの参画を得て、本計画の点検や意見交換会の開催などについて検討する。</li> <li>・ 住民などに対する継続的な広報</li> </ul> </li> </ul>	



都市再生整備計画の区域

北野上七軒界わい地区(京都府京都市)	面積 25 ha	区域 京都市上京区真盛町, 鳥居前町, 社家長屋町, 毘沙門町, 西柳町, 東柳町, 観音寺門前町の全部と北町, 馬喰町, 紙屋川町, 西今小路町, 東今小路町, 片原町, 溝前町, 老松町の一部
--------------------	-------------	---



# 北野上七軒界わい地区(京都府京都市) 整備方針概要図

目標	無電柱化事業・石畳風アスファルト舗装・道路照明灯の設置等により、歴史的文化的特性を活かした景観整備を行い、都市観光の活性化を図るとともに、地域住民が安全・安心に暮らせるまちづくりを行う。	代表的な指標	上七軒通の歩行者数 (人)	1,250	(H21年度)	→	1,500	(H25年度)
			地域住民の景観に対する満足度 (景観が良いと思っている方の割合) (%)	20	(H21年度)	→	60	(H25年度)
			地域住民のワークショップ参加人数 (人)	10	(H21年度)	→	20	(H25年度)

歴史的風致維持向上計画  
重点区域  
A = 1,903ha  
(歴史的市街地地区)

都市再生整備計画区域  
A = 25ha  
(北野上七軒界わい地区)

■ 基幹事業(高質空間形成施設) 石碑

【整備イメージ】

■ 基幹事業(道路事業)  
電線共同溝

■ 基幹事業(高質空間形成施設)  
石畳風アスファルト舗装

【整備後 イメージ】

□ 提案事業(地域創造支援事業)  
上七軒歌舞練場修景整備事業

■ 基幹事業(高質空間形成施設)  
照明灯

□ 提案事業(事業活用調査)  
歩行者数交通量調査  
地域住民満足度調査

□ 提案事業(まちづくり活動推進事業)  
ワークショップ開催  
パンフレット作成

■ 基幹事業(道路事業)  
情報板

【整備イメージ】

凡 例

- 基幹事業
- 提案事業
- 関連事業

0m 100m 200m 500m